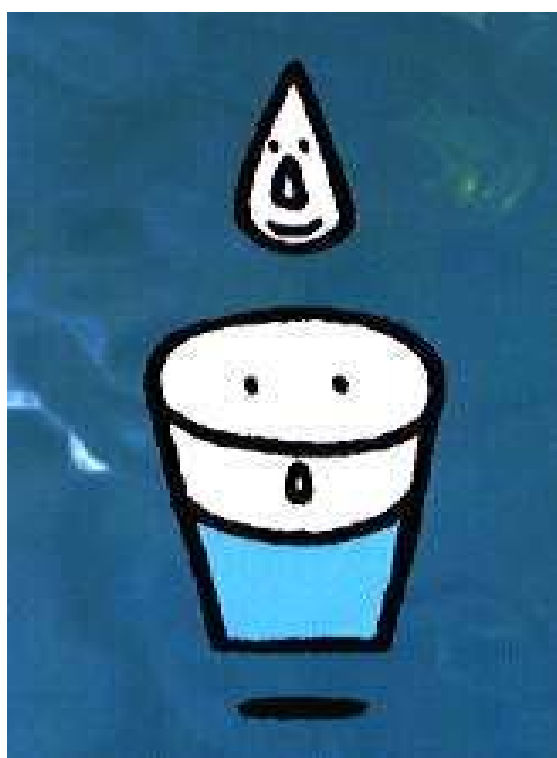


岡山市水道事業審議会

第22回資料



平成 18 年 3 月 24 日 (金) 13 時 30 分 ~

ほっとプラザ大供 2 階会議室

岡 山 市 水 道 局

目 次

- 1 平成 18 年度予算（案）の概要について 1
- 2 岡山市水道局集中改革プラン（案）について 4
- 3 「岡山市水道に関する意識調査」の集計速報について 6

別冊

- 1 岡山市水道局集中改革プラン（案）
- 2 「岡山市水道に関する意識調査について」調査票

1 平成18年度予算(案)の概要について

平成18年度 水道事業会計予算(案)の概要

1 予算の特徴

- ・「シーリング対象外事業」に係る経費を除いて、予算規模を平成17年度当初予算額の95%の範囲内に抑える。
- ・厳しい財政状況の中、石綿管更新事業、鉛管解消事業及び災害対策事業等について積極的に推進する。
- ・合併特例債を活用した一般会計からの出資金を財源とする合併特例事業を実施する。
シーリング対象外経費の考え方
- ・企業債元利償還金、減価償却費等の義務的経費
- ・水道事業の重点施策である石綿管解消事業、鉛管解消事業等

2 主要な事業

(1) 配水池の増強、配水幹線の整備

基幹施設整備事業	2,369,000 千円
・三野浄水場の急速ろ過池築造(継続費 平成17年度～平成19年度)	
・災害に強い水道づくりとして、主要配水池の2池化工事を実施	
・合併特例事業として、灘崎地区の水需要に対する給水能力の不足分を解消し、安定給水を図るための連絡管等の整備及び両地区浄水場、ポンプ場の施設管理を三野浄水場で一括管理するための遠方監視システム整備(内数、270,000千円)	

(2) 安全な水の安定給水

浄水関連施設の更新対策	350,580 千円
水質試験機器の増強	9,600 千円

(3) ライフラインの確保

配水管整備事業(L=44,700m)	2,923,000 千円
管路近代化事業(石綿セメント管)(L=4,489m)	310,000 千円
漏水防止対策(451Km)	87,375 千円

(4) 給水サービスの向上

鉛製給水管の解消事業	180,000 千円
------------	------------

(5) 水源林事業

旧富村(現鏡野町)・新庄村	12,972 千円
---------------	-----------

3 業務の予定量

項目	年度	18年度当初 A	17年度当初 B	差 引 (A - B)	A / B (%)
給水戸数 (戸)		301,390	297,666	3,724	101.25
年間総配水量 (m ³)		97,509,500	97,363,500	146,000	100.15
一日平均 (m ³)		267,130	266,730	400	100.15

4 水道事業会計予算総括表

(単位 千円)

区分	18年度当初 A	17年度当初 B	差 引 (A - B)	A / B (%)
1 予算規模 (3 + 6)	22,701,000	22,513,000	188,000	100.84

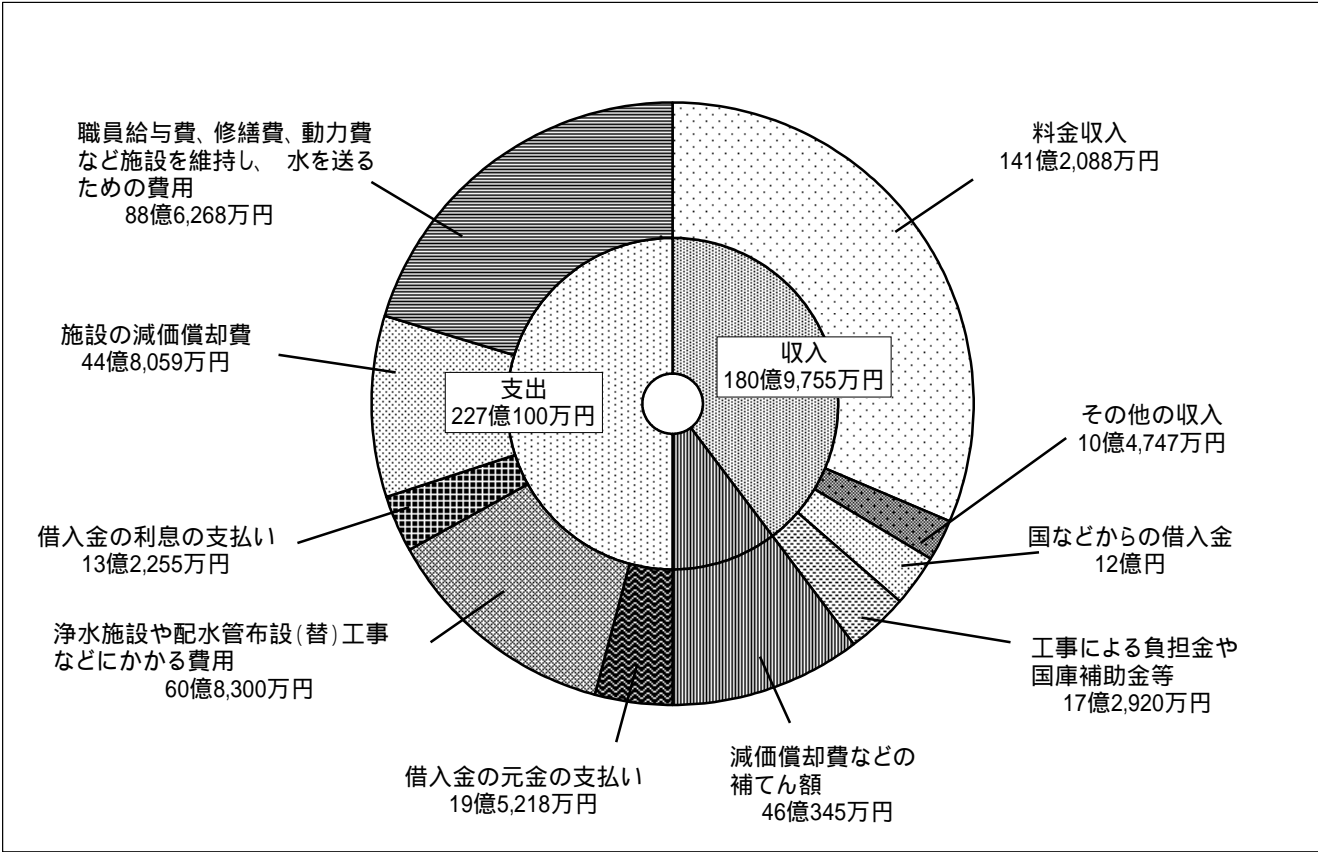
< 収益的収支 >

2 水道事業収益	15,168,351	15,164,842	3,509	100.02
3 水道事業費用	14,665,817	14,914,475	248,658	98.33
4 差 引 (2 - 3)	502,534	250,367	252,167	

< 資本的収支 >

5 資本的収入	2,929,195	2,765,910	163,285	105.90
6 資本的支出	8,035,183	7,598,525	436,658	105.75
7 資本的収支不足額 (5 - 6)	5,105,988	4,832,615	273,373	

資本的収支不足額は、損益勘定留保資金等で補てんする。



2 岡山市水道局集中改革プラン（案）について

1 はじめに

- (1) 岡山市水道事業総合基本計画（ステージ2 1 アクアプラン）の見直し
平成12年度に策定し事業推進してきたが、岡山市水道局を取りまく状況変化により見直しが必要。
- (2) 継続的な行財政改革
見直しに当たっては、厚生労働省が水道事業者の将来の共通目標として示した「水道ビジョン」の政策目標を取り入れるとともに、岡山市水道局として独自に長期的視点での行財政改革の目標も掲げ、当面の具体的な取組みとして集中改革プランを策定する。
- (3) 集中改革プラン
昨年4月に料金改定を実施したが、合併等に伴う必要整備事業により、財政状況は依然として厳しいため、さらに経営改善に取り組む。
- (4) 総務省指針との整合
「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針（平成17年3月29日付け総務省通知）」で各地方自治体（公営企業も対象）に平成17年度中の策定が求められている内容にも対応させる。

2 プランの基本方針

- (1) プラン策定期間
平成17年度から平成21年度まで（5年間）
- (2) プランの目標
財政状況は厳しさを増すが、プラン策定期間内においては現行料金を前提として経営基盤強化に取り組む。
- (3) 具体的な取組み
 - ア 事務・事業の再編・整理、廃止・統合〔縮減目標3億4,600万円〕
お客様サービスセンター（仮称）の設置、浄水場交替勤務体制の見直し
 - イ 民間委託等の推進〔縮減目標1億4,190万円〕
料金清算業務、配水管布設工事監督補助業務の委託等
 - ウ 給与の適正化〔縮減目標1億5,286万円〕
退職時特別昇給の廃止、特殊勤務手当の見直し

- エ その他の経費削減〔縮減目標9,749万円〕
遊休地の有効利用、公用車管理の見直し、電話交換業務の見直し等
- オ 定員管理の適正化
平成17年4月現在の職員数392名(管理者を除く)を5年間で25名削減(6.4%減)し、平成22年4月現在で367名体制とする。

3 プランの公表等

- (1) 集中改革プランの公表
平成17年度中にプランを策定し水道局ホームページ等により公表する。
- (2) 達成状況の公表
各年度におけるプラン達成状況を水道局ホームページ等により公表するとともに、岡山市水道事業審議会へ報告する。

《これまでの経過と今後の予定》

- 平成18年2月21日 環境消防水道委員会で報告説明
- 平成18年3月 2日
~ 15日 水道局ホームページによりパブリックコメント募集
- 平成18年3月24日 岡山市水道事業審議会での報告説明
- 平成18年3月31日 までに確定し公表

3 「岡山市水道に関する意識調査」の集計速報について

1 . 調査の目的

本調査は水道を取り巻く様々な環境変化の中、事業運営を行うにあたり、水道利用者の水道事業に対する意向、要望、意識の変化を的確に把握し、今後の水道事業運営の基礎資料とすることを目的とした。

2 . 調査の設計

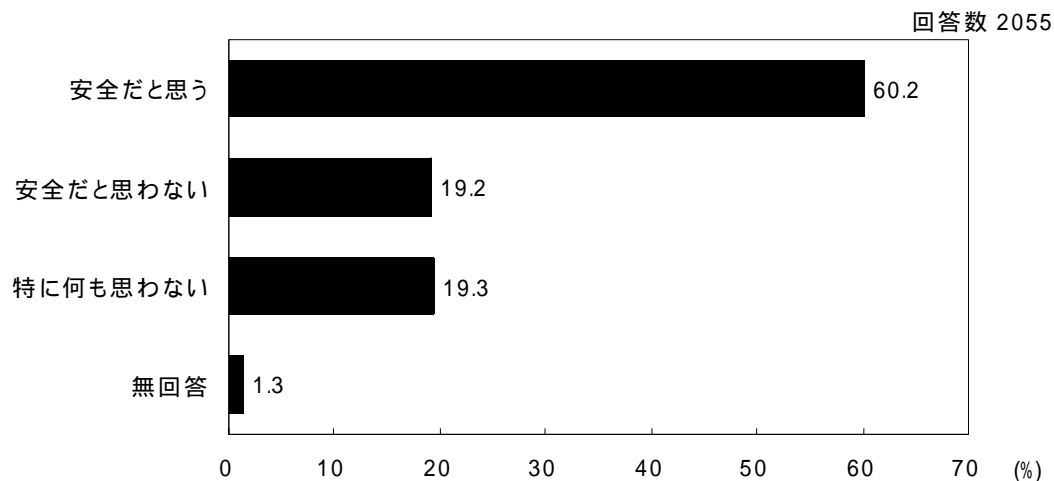
- (1) 調査地域 岡山市全域
- (2) 調査対象 市内に在住する満20歳以上の男女3,000人
- (3) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (5) 調査期間 平成18年 1月16日 ~ 平成18年 1月31日
- (6) 調査内容 別紙資料のとおり

3 . 回収結果

- (1) 標本数 3 , 0 0 0
- (2) 有効回収数 (率) 2 , 0 5 5 (6 8 . 5 %)

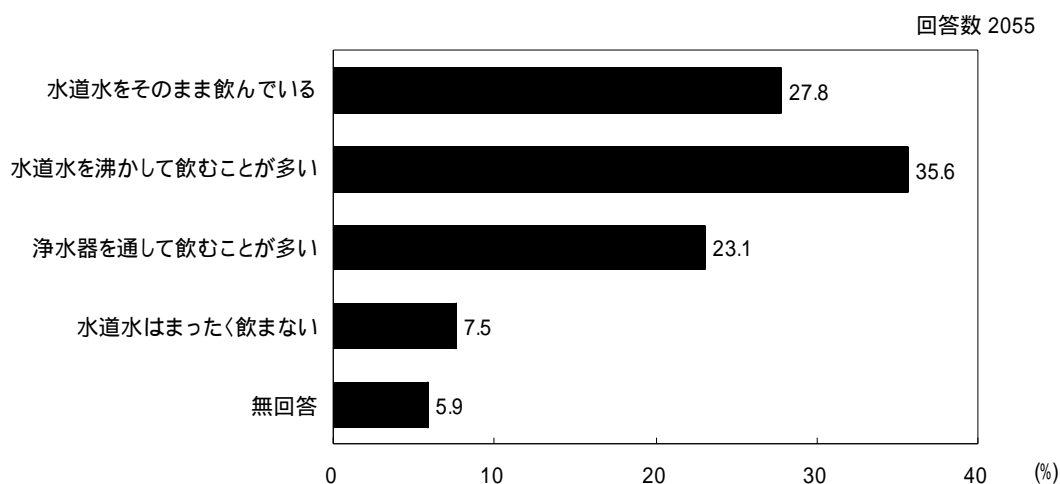
4. 集計速報

問．水道水を普段使われて、安全性についての印象はいかがですか？次の中から選んで下さい。（　は1つ）



水道水の安全性についての印象では、60.2%の人が「安全だと思う」を選択した。「安全だと思わない」を選択した回答者は19.2%で「安全だと思う」の3分の1にとどまった。

問．ご家庭では水道水を飲みますか。（　は1つ）

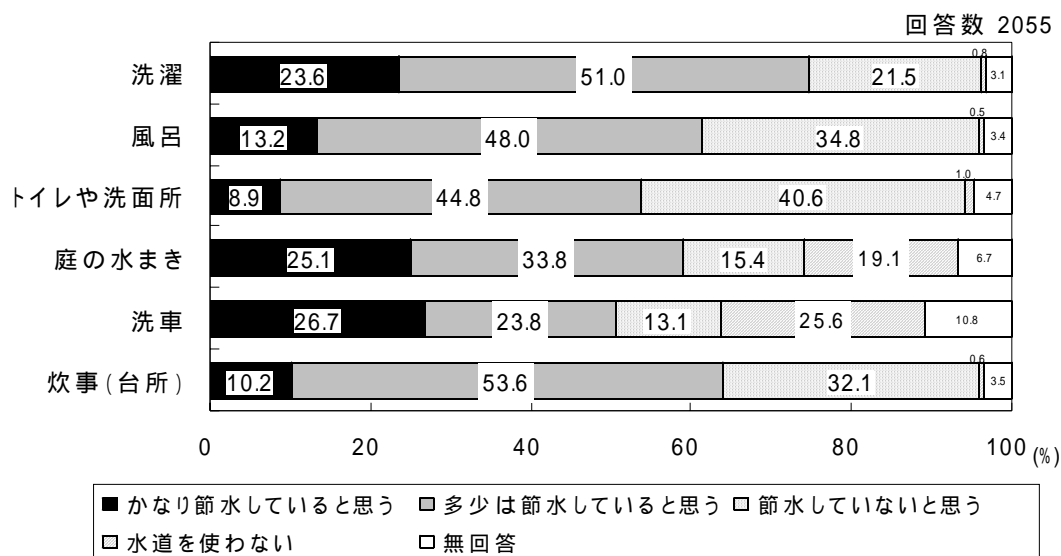


水を飲むときどのようにするか聞いたところ、「水道水を沸かして飲むことが多い」が最も多く35.6%、ついで「水道水をそのまま飲んでいる」が27.8%、「浄水器を通して飲むことが多い」が23.1%となった。

なお、なんらかの方法で水道水を飲用に利用している人の割合（直接飲用率）は92.0%となった。（無回答を除く）

問．普段の生活での節水状況についてお尋ねします。

「洗濯」「風呂」などの項目ごとに、節水状況について、あてはまるものを選んで下さい。（ は各項目1つずつ）

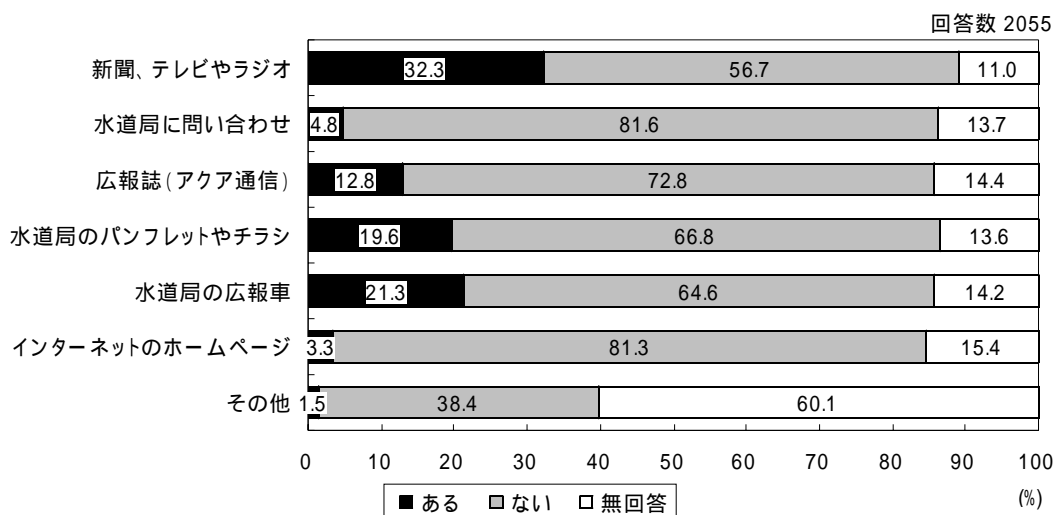


普段の生活の中での節水状況について、「かなり節水していると思う」と「多少は節水していると思う」を合わせた節水率は、いずれの項目でも5割を超えていた。

「かなり節水していると思う」「多少は節水していると思う」と考える人の割合が多かったのは洗濯や炊事、風呂であった。逆に「節水していないと思う」人の割合が多かったのは「トイレや洗面所」であった。「洗車」と「庭の水まき」以外の項目は、ほぼ毎日行われている作業であると思われる、そういった項目では特に節水意識の高さが推察された。

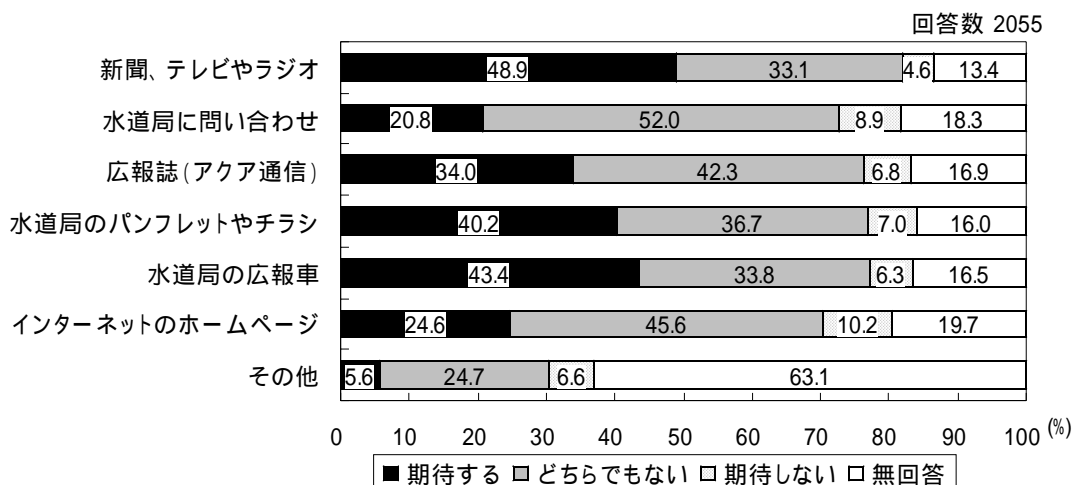
問．水道に関する情報を、いままで何で収集されましたか。また、今後どのような収集手段に期待されますか。各項目ごとに「収集経験のある・なし」と「これからの収集方法として期待する・しない」のそれぞれにあてはまる番号を選んで下さい。（ は各項目1つずつ）

収集経験のある・なし



水道に関する情報はどこから得ているのか聞いたところ、「新聞、テレビやラジオ」が32.3%で最も多かった。ついで「水道局の広報車」が21.3%、「水道局のパンフレットやチラシ」が19.6%となった。逆に「インターネットのホームページ」や「水道局に問い合わせ」によって情報を得た人は少なかった。

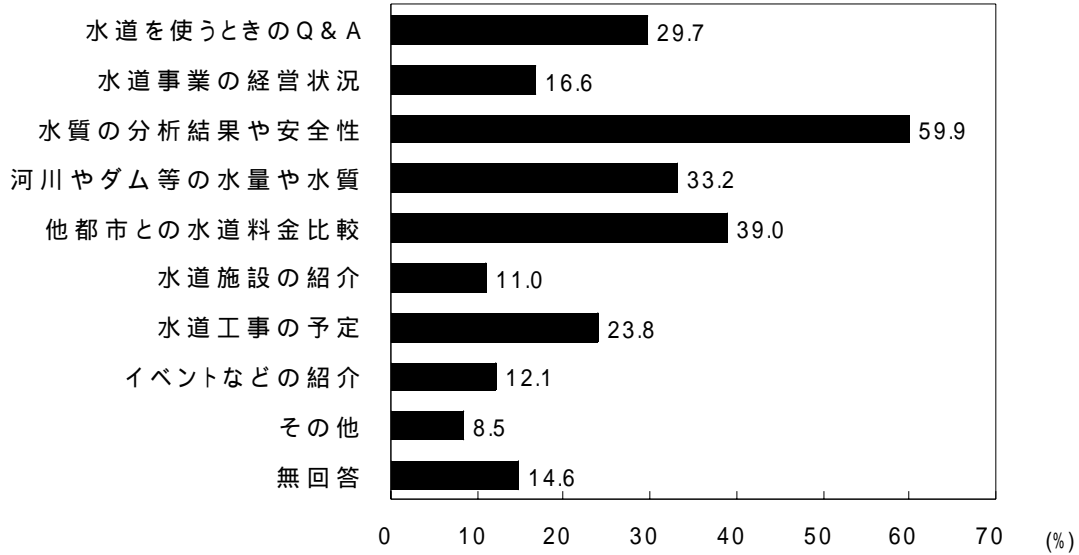
これからの収集方法として期待する・しない



これからの情報の収集方法として期待するものとしては、「新聞、テレビやラジオ」が48.9%で最も多く、次いで「水道局の広報車」が43.4%、「水道局のパンフレットやチラシ」が40.2%となっており、情報収集したことがある方法の多い順と同じになっている。また「水道局に問い合わせ」は20.8%、「インターネットのホームページ」は24.6%となっており、現在の利用度の低さに比べると、これからの情報収集手段としては期待されている。

問．水道局のホームページについてお尋ねします。水道局のホームページに、今後どのような情報を期待されますか。次の中から選んで下さい。(はいくつでも)

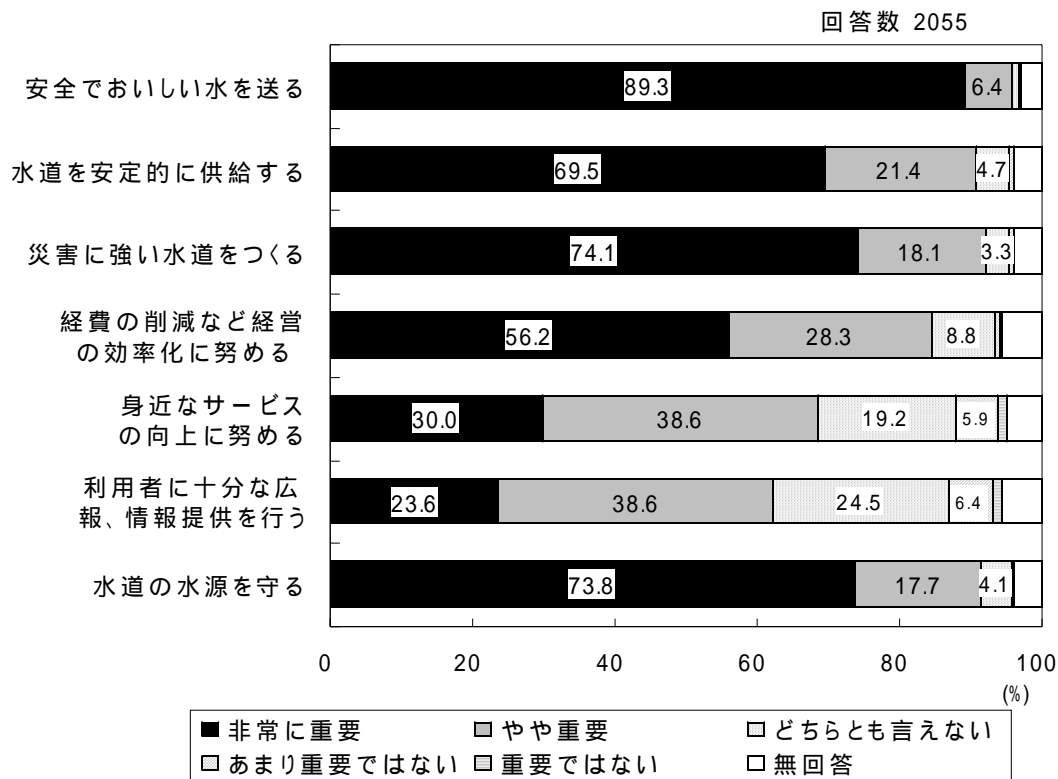
回答数 2055



水道局のホームページにどのような情報が載ることを期待するか聞いたところ、「水質の分析結果や安全性」が59.9%と最も高く、ついで「他都市との水道料金比較」が39.0%、「河川やダム等の水量や水質」が33.2%、「水道を使うときのQ & A」が29.7%となっていた。

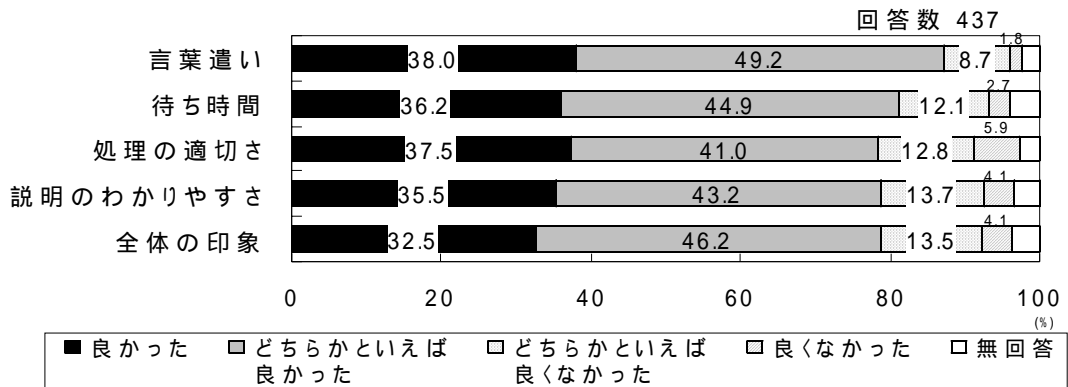
問．水道局が行っている事業活動、サービス活動に対して、どのようなことが重要だと思われ
 ますか。それぞれの項目について、あてはまる番号を選んで下さい。

(〃は各項目1つずつ)



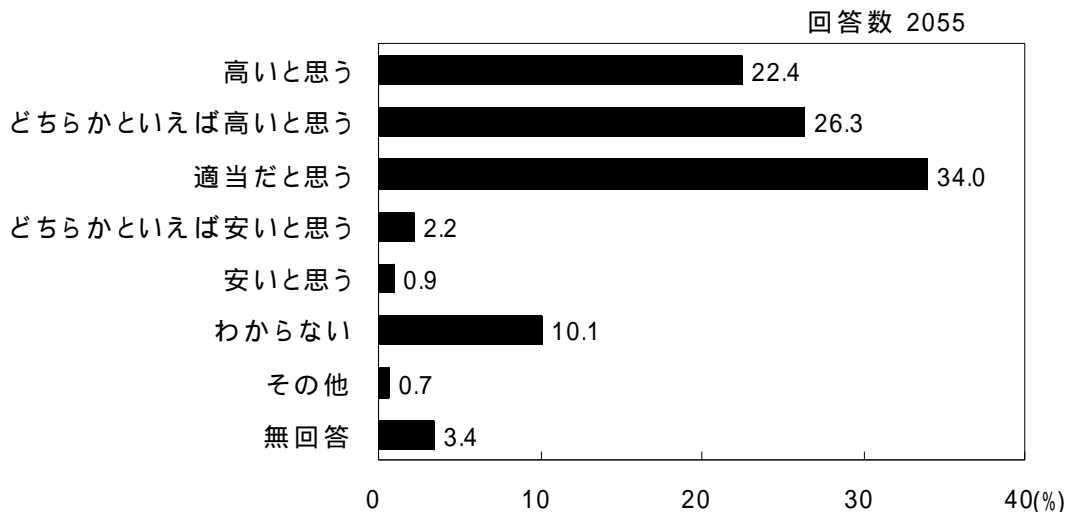
水道局が行っている事業活動、サービス活動に対して、どのようなことが重要だと思
 うか聞いたところ、「非常に重要」「やや重要」を足した重要度で見ると「安全でおいしい
 水を送る」が最も重要度が高く、ついで「災害に強い水道をつくる」、「水道の水源を
 守る」、「水道を安定的に供給する」の順となった。いずれの項目も5割を超えているが、
 特に「安全でおいしい水を送る」は約9割が「非常に重要」で占められており、この項目
 に対して回答者が強い関心を持っていることが推察される。

問．あなたが水道局の事業所（営業所を含む）に電話をしたとき、または営業所の窓口を利用したときの職員の対応はいかがでしたか。それぞれの項目について、あてはまる番号を選んで下さい。（__は各項目1つずつ）



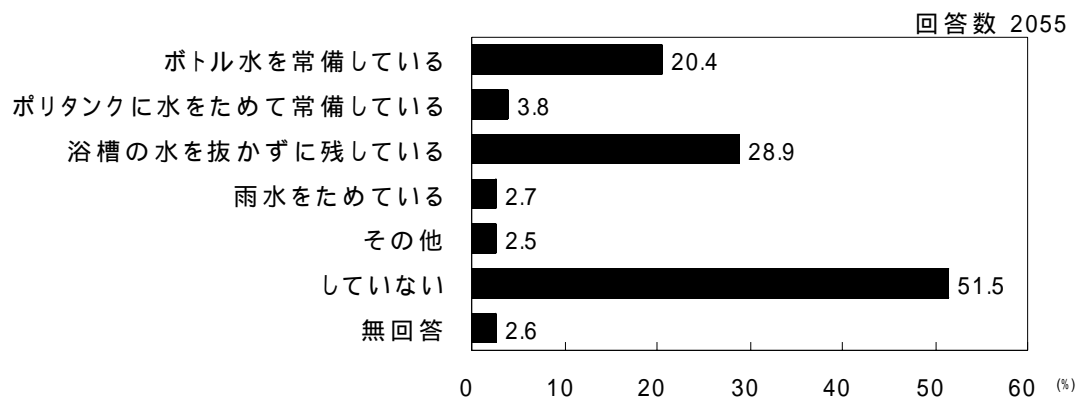
どの項目についても約8割の利用者が「良かった」「どちらかといえば良かった」と答えており、概ね職員の対応については好印象を持たれていると思われた。

問．水道料金（下水道使用料は含まない）についてお尋ねします。岡山地区・瀬崎地区の方は、水道料金は2か月に1度の請求ですので、1か月あたりに換算してお答え下さい。（__は1つ）



水道料金について尋ねたところ、「適当だと思う」が34.0%と最も多かった。しかし、「どちらかといえば高いと思う」、「高いと思う」がそれぞれ26.3%、22.4%と多く、水道料金について高いと思っている人が多いように思われた。

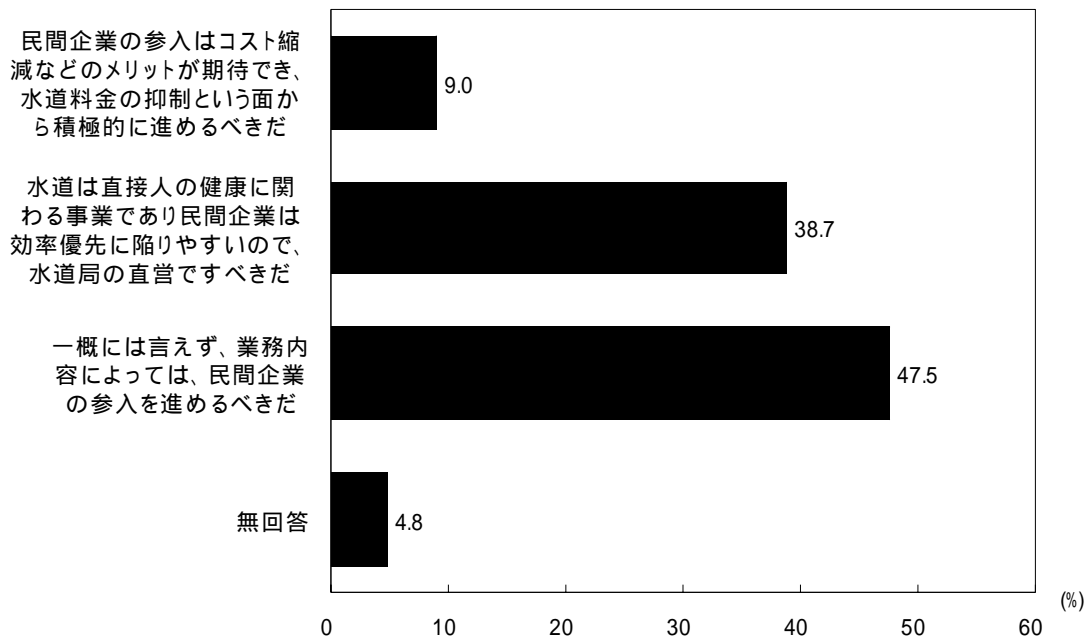
問．あなたのご家庭では震災などの自然災害に備えて、水の確保についてどのような対策をしていますか。(はいくつでも)



家庭で災害に備えて水の確保をしているかたずねたところ、「何もしていない」が51.5%と最も多かった。水の確保をしている内容としては、「浴槽の水を抜かずに残している」が最も多くて28.9%、ついで「ボトル水を常備している」が20.4%となっていた。

問．水道事業への民間企業の参入について、あなたはどのように思われますか。次の中から選んで下さい。(〃は1つ)

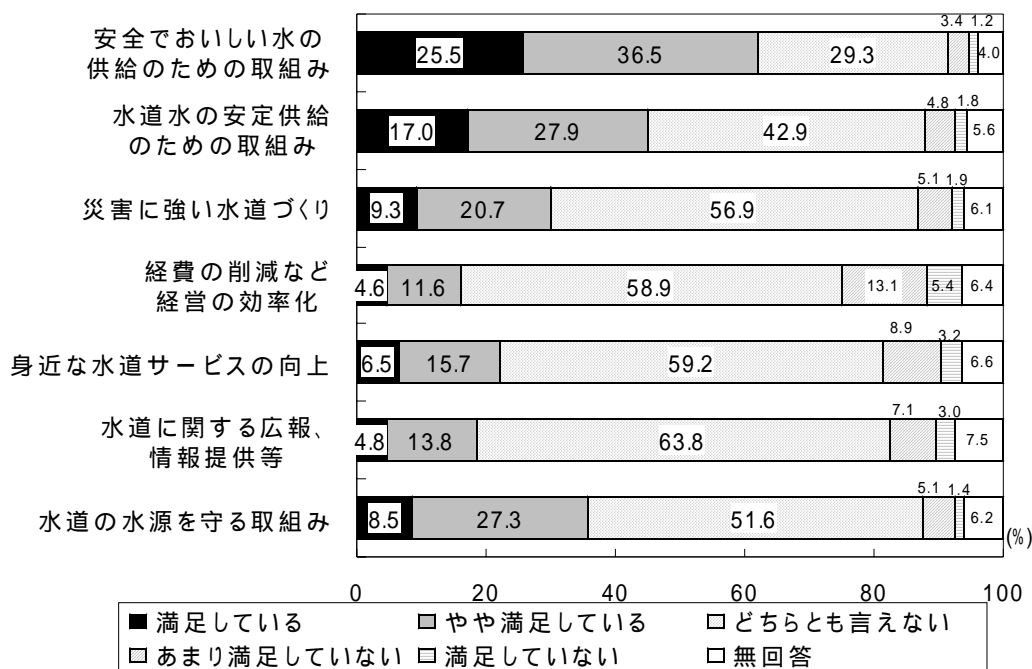
回答数 2055



水道事業への民間企業の参入についてたずねたところ、「一概には言えず、業務内容によっては、民間企業の参入を進めるべきだ」と答えた人が47.5%と最も多く、次いで「水道は直接人の健康に関わる事業であり、民間企業は効率優先に陥りやすいので、水道局の直営すべきだ」が38.7%となっていた。「民間企業の参入はコスト縮減などのメリットが期待でき、水道料金の抑制という面から積極的に進めるべきだ」と考えている人は1割程度にとどまった。

問．あなたは岡山市の水道局の事業内容について、日ごろどのように感じていますか。それぞれの項目について、あてはまる番号を選んで下さい。
 (〇は各項目1つずつ)

各項目のn = 2055



水道局が行っている事業内容に対して、どのように感じているか評価を聞いたところ、「満足している」「やや満足している」を足した満足度で見ると「安全でおいしい水の供給のための取組み」が最も満足度が高く、続いて「水道水の安定供給のための取組み」「水道の水源を守る取組み」「災害に強い水道づくり」などが続いている。逆に「あまり満足していない」「満足していない」を足した不満足度で見ると「経費の削減など経営の効率化」が最も高く、次いで「身近な水道サービスの向上」「水道に関する広報、情報提供」となった。

5 . 調査結果の公表

調査結果をまとめた冊子を300部作成し、市内の図書館、公民館等に配布するとともに、水道局のホームページにも調査結果を掲載することとしている。